



成田国際空港を活用した 地域活性化の方向性

2015年11月27日（金）

(株)ちばぎん総合研究所

調査部 副部長 関 寛之

【本日本話しする内容】

I. 成田国際空港の運用実績

II. 成田国際空港のストック効果

III. 社会潮流の変化

(県内への人流・物流が増えるビジネスチャンス)

IV. 成田国際空港を活用した千葉県の地域活性化の方向性

I. 成田国際空港の運用実績

(1) 国際線航空旅客数の国内シェアが一貫してトップ

✓ 国内シェア: 05年57.0%→14年40.7%(羽田空港・地方空港に一部需要がシフト)

(2) 国内線の国内シェア(14年度)が08年度の5倍に増加

✓ LCCの就航及びLCCの認知度向上(※)が大きく寄与

※東京圏(千葉県・東京都・神奈川県・埼玉県)在住者のLCCの認知度

13年10月調査: 65.3%(注1)→15年3月調査: 81.9%(注2)(2013年比+16.5ポイント)

(注1)成田空港活用協議会調査(サンプル数: 1,724人) (注2)株式会社ちばぎん総合研究所調査(サンプル数: 4,500人)

第3旅客ターミナルビルの
供用開始及びグッドデザイン
金賞受賞でさらに上昇

◆航空機乗降客数の国内シェア

(単位: %)

	成田国際空港			中部国際空港			関西国際空港			羽田空港			4空港以外		
		国際線	国内線		国際線	国内線		国際線	国内線		国際線	国内線		国際線	国内線
2005年度	12.5	57.0	0.6	4.8	9.5	3.6	6.6	21.0	2.7	25.5	2.5	31.7	50.5	10.0	61.5
2006年度	12.5	56.8	0.6	4.6	9.6	3.2	6.4	20.2	2.7	26.1	3.0	32.3	50.4	10.4	61.2
2007年度	12.7	56.6	0.6	4.6	9.7	3.1	6.5	19.7	2.9	26.4	3.6	32.7	49.9	10.4	60.7
2008年度	12.2	56.2	0.6	4.4	9.4	3.1	6.3	19.5	2.7	27.2	4.8	33.1	50.0	10.1	60.5
2009年度	12.9	56.5	0.7	4.0	8.3	2.8	5.9	19.0	2.2	27.3	5.5	33.4	49.9	10.7	60.9
2010年度	13.0	52.2	1.0	4.0	8.2	2.7	6.1	19.2	2.2	30.0	9.0	36.4	46.9	11.5	57.8
2011年度	11.9	47.1	1.1	4.0	8.2	2.7	6.2	19.3	2.2	32.3	14.1	37.8	45.7	11.2	56.2
2012年度	12.8	46.8	2.0	3.8	7.6	2.6	6.9	19.6	2.9	31.1	13.8	36.6	45.4	12.2	55.8
2013年度	13.0	46.5	2.6	3.8	7.2	2.8	7.0	19.8	3.1	30.3	13.4	35.5	45.9	13.2	55.9
2014年度	12.2	40.7	3.0	3.7	6.7	2.7	7.4	20.4	3.2	27.7	17.6	30.9	49.0	14.5	60.2

(注) 1. 出所: 国土交通省「空港管理状況調書」

2. 全国は「拠点空港」、「地方管理空港」、「共用空港」の合計。

I. 成田国際空港の運用実績

(3) ①航空貨物量の国内シェアが一貫してトップ

✓ 成田国際空港の航空貨物量(重量ベース)の国内シェア(14年度): 39.6%

- ・ 国際線シェア: 09年度69.8%→14年58.5%(羽田空港・地方空港に一部需要がシフト)
- ・ 国内線シェア: 09年0.2%→14年3.0%(09年比+15倍)

✓ 輸出額の4港シェア縮小が顕著: 07年67.5%→14年57.6%(07年比▲9.9ポイント)

◆ 航空貨物量の国内シェア(重量ベース)

(単位: %)

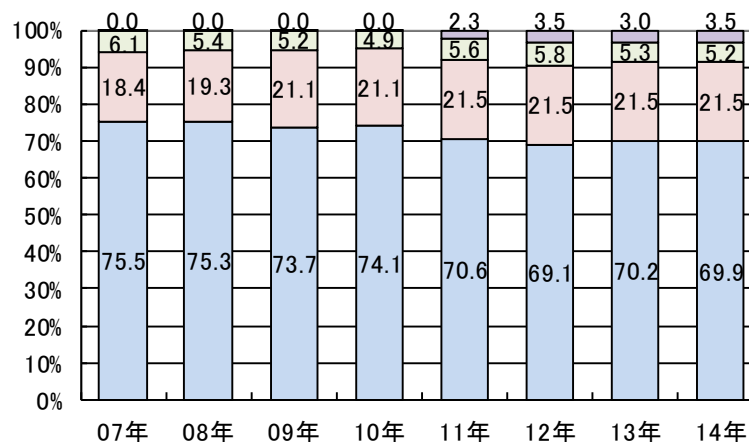
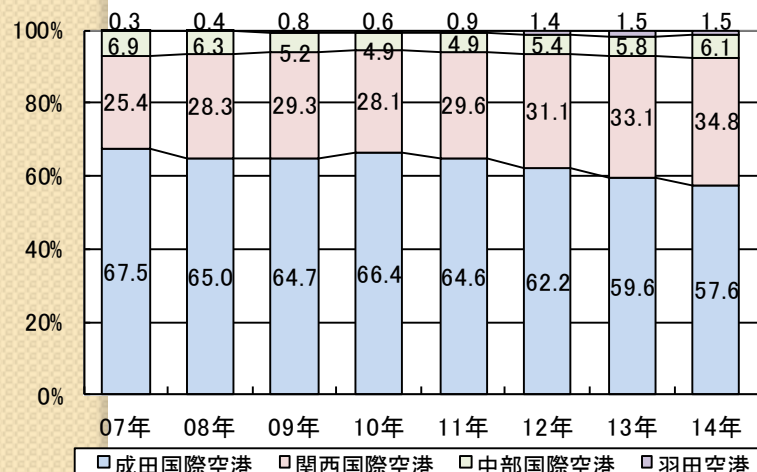
	成田国際空港			中部国際空港			関西国際空港			羽田空港			4空港以外		
		国際線	国内線		国際線	国内線		国際線	国内線		国際線	国内線		国際線	国内線
2009年度	42.0	69.8	0.2	3.3	4.2	1.8	13.5	21.2	2.1	15.8	0.6	38.7	25.4	4.2	57.2
2010年度	41.4	64.7	0.3	3.0	3.7	1.7	15.0	22.3	2.1	15.6	1.9	39.7	25.1	7.3	56.3
2011年度	40.3	63.0	0.4	3.0	3.8	1.6	14.8	22.0	2.1	17.1	4.0	40.1	24.8	7.1	55.9
2012年度	40.5	63.3	1.0	2.9	3.7	1.6	14.3	21.5	1.6	17.7	4.6	40.3	24.6	6.9	55.5
2013年度	40.5	62.7	2.4	3.5	4.6	1.7	13.4	20.4	1.3	18.2	4.9	41.1	24.4	7.4	53.5
2014年度	39.6	58.5	3.0	3.8	5.0	1.6	13.7	20.3	1.2	19.8	8.7	41.2	23.1	7.5	53.0

(出所) 国土交通省「空港管理状況調書」

◆ 成田国際空港・関西国際空港・中部国際空港・羽田空港の輸出入額ウェイト(4港合計=100%)

《輸出額》

《輸入額》



(出所) 財務省「貿易統計」よりちばぎん総合研究所が作成。

I. 成田国際空港の運用実績

(3) ② 成田国際空港の輸出概況品の特徴

✓「食料品及び動物」及び「飲料及びたばこ」の貿易額が4空港中最多。

✓「特殊取扱品」の構成比(28.5%)が4空港中最多。

(主な取扱品)再輸出品(航空部品など)、金(マネタリーゴールドを除く)

✓「雑製品」の構成比(14.4%)が4空港中最多。

(主な取扱品)科学光学機器、貴石等の製品類、記録媒体(含記録済み)

✓機械類及び輸送用機器の構成比が関西国際空港・中部国際空港より低い

■2014年度輸出額(国際空港別・概況品別)

	成田国際空港		羽田空港		関西国際空港		中部国際空港	
	実額 (億円)	構成比 (%)	実額 (億円)	構成比 (%)	実額 (億円)	構成比 (%)	実額 (億円)	構成比 (%)
合計	68,839	100.0	2,559	100.0	50,788	100.0	9,432	100.0
食料品及び動物	122	0.2	40	1.6	93	0.2	22	0.2
飲料及びたばこ	4	0.0	0	0.0	3	0.0	1	0.0
食料に適さない原材料	54	0.1	1	0.0	123	0.2	10	0.1
鉱物性燃料	4	0.0	0	0.0	3	0.0	1	0.0
動植物性油脂	2	0.0	0	0.0	3	0.0	0	0.0
化学製品	5,072	7.4	211	8.3	4,866	9.6	551	5.8
原料別製品	5,395	7.8	109	4.3	2,757	5.4	736	7.8
機械類及び輸送用機器	28,630	41.6	781	30.5	32,395	63.8	6,633	70.3
一般機械	9,050	13.1	231	9.0	6,758	13.3	2,165	23.0
電気機器	18,911	27.5	488	19.1	25,228	49.7	3,682	39.0
輸送用機器	670	1.0	61	2.4	409	0.8	785	8.3
8 雑製品	9,904	14.4	127	5.0	6,153	12.1	717	7.6
9 特殊取扱品	19,651	28.5	1,290	50.4	4,392	8.6	762	8.1

(注) 1. 出所: 財務省「貿易統計」

2. 成田国際空港の雑製品は、科学光学機器、貴石等の製品類、記録媒体(含記録済)など。

3. 成田国際空港の特殊取扱品は、再輸出品(航空部品など)、金(マネタリーゴールドを除く)。

I. 成田国際空港の運用実績

(3) ③成田国際空港の輸出額の国内シェアが縮小している背景

✓「一般・電気機械」は近畿圏、「輸送用機械」は中京圏のシェアがトップ

✓輸出拠点空港の分散化が進展(最寄空港から輸出)

(「機械類及び輸送用機器」の輸出需要が関西国際空港及び中部国際空港にシフト)

◆3大都市圏における機械関連の製造品出荷額(2012年の実額・構成比) (単位:百億円、%)

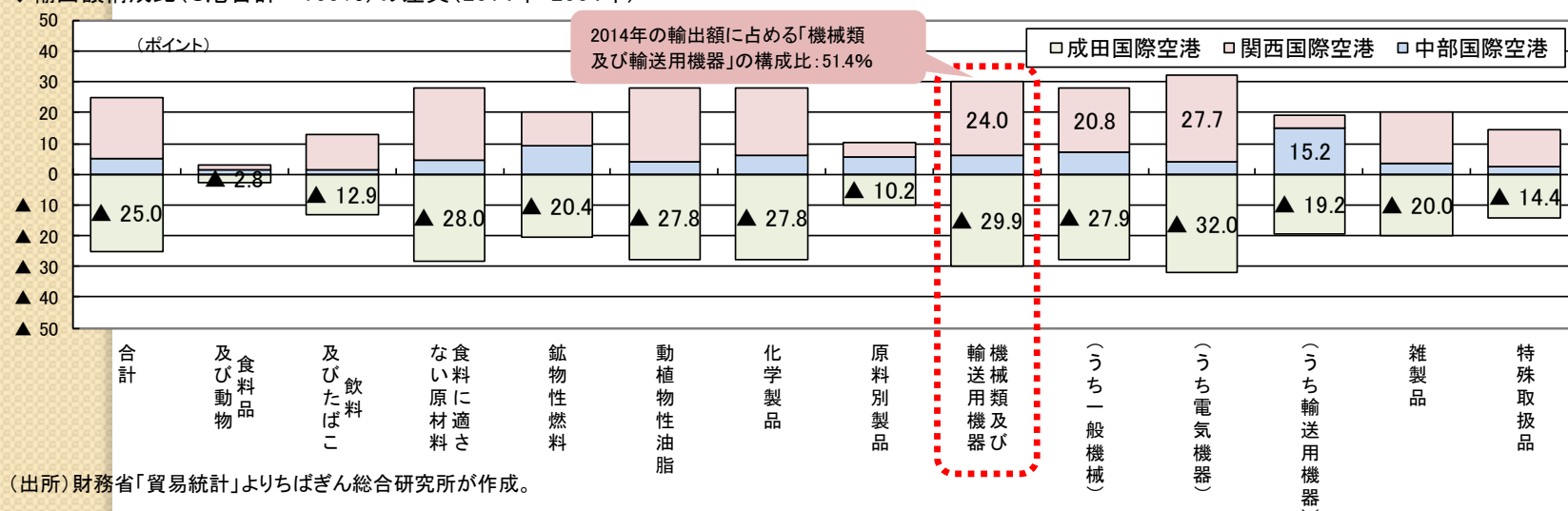
	全国	東京圏	千葉県	埼玉県	東京都	神奈川県	中京圏	うち 愛知県	近畿圏	うち 大阪府
製造業計	29,209	4,987	1,300	1,179	785	1,723	5,721	4,200	4,587	1,602
一般機械	3,209	514	68	129	92	225	499	357	705	232
構成比	100.0	16.0	2.1	4.0	2.9	7.0	15.6	11.1	22.0	7.2
電気機械	1,546	178	19	43	60	57	281	189	362	97
構成比	100.0	11.5	1.2	2.8	3.9	3.7	18.2	12.3	23.4	6.3
輸送用機械	5,820	700	12	182	147	358	2,646	2,309	362	106
構成比	100.0	12.0	0.2	3.1	2.5	6.2	45.5	39.7	6.2	1.8

(注) 1. 出所:経済産業省「工業統計(平成25年)」のデータからちばぎん総合研究所が作成。

2. 一般機械は、はん用機械と生産用機械、業務用機械の合計値。

成田国際空港の航空貨物量の拡大は、東京圏の産業振興(航空物流の実需増加)が鍵を握っているようだ・・・。

◆輸出額構成比(3港合計=100%)の差異(2014年-2004年)



I. 成田国際空港の運用実績

(4) 航空機発着回数がゴールデンタイムに集中

✓ 成田国際空港の発着回数(1時間当たり): 7.5分に1回(6時台) ~ 1.0分に1回(17時台)

✓ 航空機発着回数の過密状況は国内国際空港でトップ

※滑走路1本当たり発着回数(最多過密時間帯)

成田国際空港: 29回(17時台)、羽田空港: 23回(10時台、17時台)、

中部国際空港: 24回(10時台)、関西国際空港: 18回(10時台)

◆成田国際空港の1日当り時間帯別航空機発着回数(2015年11月ダイヤ)

(単位: 回、%)

	国際線		国内線		合計		全便	構成比
	出発便	到着便	出発便	到着便	出発便	到着便		
6時台	0	8	0	0	0	8	8	1.5
7時台	1	11	2	0	3	11	14	2.7
8時台	2	9	2	4	4	13	17	3.3
9時台	11	6	7	7	18	13	31	6.0
10時台	18	7	7	0	25	7	32	6.1
11時台	24	7	2	2	26	9	35	6.7
12時台	11	10	4	3	15	13	28	5.4
13時台	8	12	3	3	11	15	26	5.0
14時台	10	20	3	8	13	28	41	7.9
15時台	6	32	2	10	8	42	50	9.6
16時台	8	31	3	3	11	34	45	8.6
17時台	30	15	11	2	41	17	58	11.1
18時台	34	11	10	1	44	12	56	10.7
19時台	10	12	0	2	10	14	24	4.6
20時台	14	7	2	3	16	10	26	5.0
21時台	8	6	0	7	8	13	21	4.0
22時台	5	1	0	3	5	4	9	1.7
合計	200	205	58	58	258	263	521	100.0

航空機発着回数に
繁閑の差がある…。
ゴールデンタイムは
容量オーバー？



18.8 %

40.1 %

(注) 1. 出所) 成田国際空港ホームページの本日のフライト全便一覧(2015年11月18日)をもとにちばぎん総合研究所が作成。

2. ピンクの網掛けは、混雑時間帯(構成が6%以上)。赤い網掛けは最高混雑時間帯。

Ⅱ. 成田国際空港の立地効果（ストック効果）

（１）経済波及効果

■ 千葉県の経済波及効果：1兆1,440億円

【評価（例）】

- ・ 千葉県内百貨店＋大型スーパー253か店の年間売上高（9,774億円）の約1.2倍
- ・ ㈱オリエンタルランドの売上高（15年3月期）（4,662億円）の約2.5倍
- ・ 幕張メッセ（970億円）の約12倍相当の効果

■ 千葉県の雇用創出効果：66,042人（同3.2%相当）

【評価（例）】

- ・ 空港周辺9市町の就業者全体17.6万人の約4割程度の効果

《成田国際空港の経済波及効果・雇用創出効果》

	2007年 (19.4万回 3,539万人)	2013年 (22.6万回 3,604万人)	
			千葉県全体に 占める構成比%
経済波及効果 (県内企業の売上額)	9,789億円	1兆1,440億円	3.1%
雇用創出効果	63,928人	66,042人	3.2%

（出所） ちばぎん総合研究所が推計

Ⅱ. 成田国際空港の立地効果（ストック効果）

■ 成田空港関連の産業別売上高（上位3位）

- ① 運輸業：売上額6,760億円（千葉県の運輸業売上額の30%程度）
雇用効果33,800人（千葉県の運輸業従業者の23%程度）
- ② 商業：同1,028億円、同14,327人
- ③ 不動産業：同951億円、同683人

「成田空港関連の産業別売上高及び雇用効果（上位10位）」

	産業分類	売上金額 (百万円)	構成比 (%)	雇用効果 (人)	構成比 (%)	対象事業所 (例)
1	運輸	676,030	59.0	33,800	51.1	航空会社（FSA・LCC）、通関事業者、道路輸送事業者、公共交通事業者（JR、京成、高速バス等）、運輸付帯サービス業 など
2	商業	102,754	9.0	14,327	21.7	空港内小売店、各種小売店（日本人の海外渡航事前準備の消費、外国人旅行者の消費） など
3	不動産	95,126	8.3	683	1.0	空港外駐車場、貸倉庫（プロロジス等）、不動産賃貸業、不動産仲介業 など
4	対事業所サービス	61,640	5.4	5,425	8.2	広告代理店、物品賃貸サービス業、レンタカー事業者、自動車・機械修理業 など
5	対個人サービス	49,780	4.4	6,192	9.5	空港内飲食店、県内各種飲食店、ホテル・旅館、遊園地、クリーニング店、理・美容店 など
6	金融・保険	47,490	4.1	1,873	2.8	銀行・信用金庫、農協・漁協、証券会社、保険会社 など
7	石油・石炭製品	23,504	2.1	42	0.1	石油石炭（30,725百万円）、飲食料品（5,865百万円）、化学製品（3,446百万円） など
8	電力・ガス・熱供給	19,768	1.7	166	0.3	東京電力、東京ガス、千葉ガス など
9	情報通信	17,404	1.5	719	1.1	NTT、日本郵便、テレビ・ラジオ等放送業、インターネット会社（ヤフー等）、情報サービス業 など
10	教育・研究	6,366	0.6	618	0.9	各種学校（大学、高校等）、専門学校、学術研究機関、学習塾 など
11	その他	44,148	3.9	2,197	3.3	
	合 計	1,144,009	100.0	66,042	100.0	

Ⅱ. 成田国際空港の立地効果（ストック効果）

(2) 各種ストック効果

a. 成田国際空港内の貨物取扱施設

✓ 貨物ターミナル地区及び南部貨物地区、整備地区貨物上屋に航空貨物事業者は324社、延べ床面積283,700㎡の施設が立地

b. 成田国際空港周辺の宿泊施設

✓ 成田国際空港周辺の宿泊施設(ホテル)は21施設(計7,707室)が立地

c. 成田国際空港内の従業員数

✓ 2014年11月調査では、40,651人[※](2011年比+5.1%)。

※空港周辺9市町の就業者全体17.6万人の約2割相当

成田国際空港周辺ホテル一覧

ホテル名	部屋数	開業年
成田ビューホテル	489	1974
成田東武ホテルエアポート	484	1975
ラディソンホテル成田	490	1978
ホテル日航成田	722	1978
成田エアポートレストハウス	209	1978
東横イン成田空港	331	1978
成田エクセルホテル東急	706	1985
メルキュールホテル成田	248	1986
成田U-シティホテル	102	1987
ANAクラウンプラザホテル成田	396	1989
ホテルスカイコート成田	100	1991
成田ゲートウェイホテル	307	1992
成田菊水ホテル	245	1992
ヒルトン成田	548	1993
マロウドインターナショナルホテル成田	801	1995
インターナショナルガーデンホテル成田	463	1996
センターホテル成田	130	2000
コンフォートホテル成田	142	2004
リッチモンドホテル成田	207	2009
アパホテル(京成成田駅前)	458	2009
ナインアワーズ成田空港(カプセルホテル)	129	2014
合計	7,707	-

■ 成田空港内従業員数の推移(成田国際空港周辺9市町) (単位:人)

	2002年	2005年	2008年	2011年	2014年	2011年比 (%)
9市町計	22,712	23,581	25,020	20,682	21,691	4.9
成 田 市	14,500	15,133	16,350	13,883	14,780	6.5
富 里 市	3,504	3,527	3,690	2,537	2,689	6.0
香 取 市	1,615	1,645	1,663	1,441	1,380	▲ 4.2
山 武 市	649	722	735	661	666	0.8
栄 町	854	935	911	700	672	▲ 4.0
神 崎 町	182	206	222	190	190	0.0
多 古 町	663	634	644	551	571	3.6
芝 山 町	367	374	395	351	368	4.8
横芝光町	378	405	410	368	375	1.9
合計	45,763	47,461	48,404	38,689	40,651	5.1

(出所) 成田国際空港(株)「成田空港内従業員実態調査結果」

(出所) 各ホテルホームページ等からちばぎん総合研究所が作成

Ⅱ. 成田国際空港の立地効果（ストック効果）

（３）成田国際空港の利用状況及び意識調査

（調査実施：ちばぎん総合研究所）

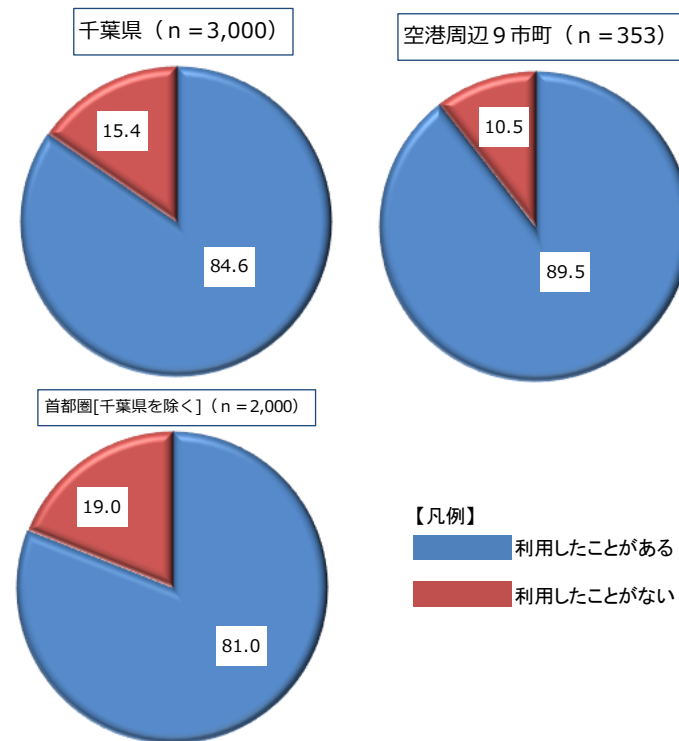
《調査概要》

調査目的	千葉県居住者及び首都圏在住者の成田国際空港の利用状況や利用満足度、今後の利用意欲、同港の立地効果などを明らかにすることを目的とする。		
調査対象	千葉県民3,000人、首都圏在住者2,000人の計5,000人		
	地域	サンプル数(人)	割合(%)
	千葉県	3,000	60.0
	うち空港周辺9市町	352	7.1
	うち9市町以外	2,648	52.9
	東京都	500	10.0
	神奈川県	500	10.0
調査方法	埼玉県	500	10.0
	茨城県	500	10.0
調査方法	WEBアンケートによる実施(実施業者:(株)クロスマーケティング)		
調査期間	2005年3月14日(土)～15日(日)		

a. 成田国際空港の利用経験

- ✓ 成田国際空港を利用したことがある千葉県民は84.6%（国際線69.2%、国内線34.0%、空港内施設の利用40.5%、空港見学24.9%、旅客の送迎・見送り45.9%）
- ✓ 成田国際空港を利用したことがある空港周辺9市町の住民は89.5%（国際線66.8%、国内線52.3%、空港内施設の利用65.5%、空港見学43.5%、旅客の送迎・見送り60.1%）

《成田国際空港の利用経験》



《利用者の割合（利用目的別）》

	千葉県	9市町	首都圏
国際線の利用	69.2%	66.8%	69.4%
国内線の利用	34.0%	52.3%	31.6%
空港内施設の利用	40.5%	65.5%	36.9%
空港見学	24.9%	43.5%	20.8%
旅客の送迎・見送り	45.9%	60.1%	40.8%
合 計	84.6%	89.5%	81.0%

Ⅱ. 成田国際空港の立地効果（ストック効果）

b. 成田国際空港が千葉県にもたらした効果について

✓ 千葉県民の4人中3人(73.7%)が「効果があった」と回答

✓ 効果の内容(複数回答可)

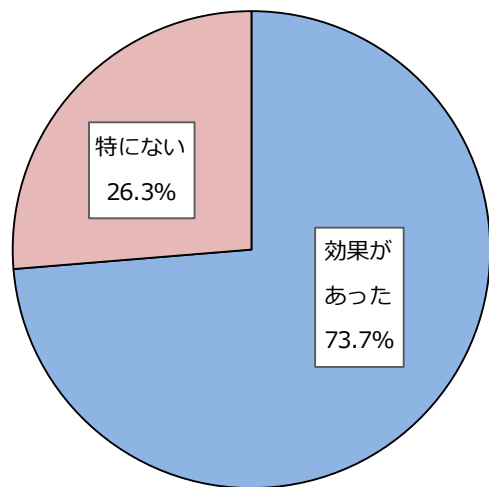
(1位) 千葉県民が海外に行きやすくなった(9市町60.1%、9市町以外47.6%)

(2位) 海外から千葉県に多くの人を訪れるようになった(同48.4%、32.9%)

(3位) 道路などの社会インフラの整備が進んだ(同38.5%、32.0%)

«成田国際空港の千葉県への効果の有無»

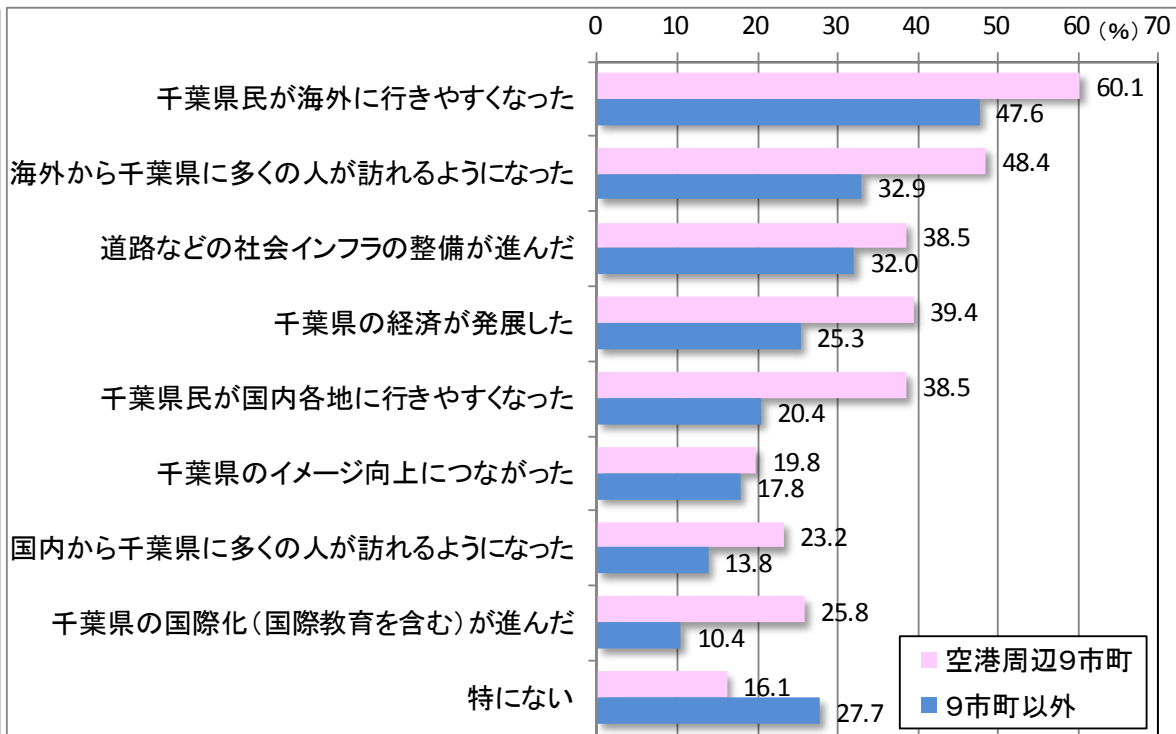
(回答者：千葉県民)



(SA, n=3,000)

«成田空港が千葉県にもたらした効果»

(回答者：千葉県民)



Ⅱ. 成田国際空港の立地効果（ストック効果）

c. 成田国際空港の今後の方向性について

✓ 成田国際空港及び空港関係者が今後取り組むべきこと（複数回答可）

（1位）公共交通機関の利便性向上（61.4％）

（2位）国内線の充実（43.8％）

（3位）国際線の充実（41.5％）

✓ 空港周辺9市町の市民は「国内線（LCC）の充実」、「空港周辺施設の充実」、「企業誘致に伴う雇用の創出」などへの期待が9市町以外と比べて大きい

◆ 成田国際空港及び空港関係者が今後取り組むべきこと（網掛けは属性別の最大値）

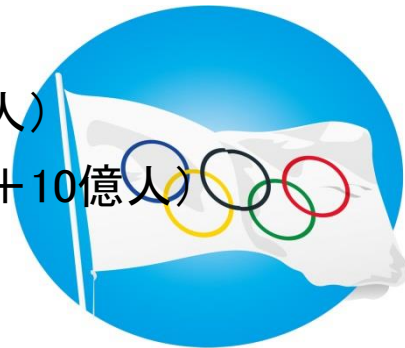
（単位：％）

		回答数（n）	公共交通機関の利便性の向上	国内線の充実	国際線の充実	（LCC）の充実 （格安航空会社）	空港周辺施設の充実	成田国際空港を利用するグローバル企業への誘致促進	空港内施設の充実
千葉県全体		3,000	61.4	43.8	41.5	39.8	32.1	26.1	25.9
性別	男性	1,643	60.0	44.1	41.2	43.2	27.7	26.9	21.5
	女性	1,357	63.0	43.3	41.9	35.7	37.4	25.1	31.3
年齢層別	20歳代	351	49.9	36.5	36.8	39.9	31.6	22.5	25.4
	30歳代	545	56.5	40.0	35.6	40.9	33.6	24.0	28.4
	40歳代	580	59.0	40.3	38.4	40.7	33.8	22.8	27.8
	50歳代	575	62.8	44.0	37.0	37.2	28.7	24.9	24.0
	60歳代	591	68.9	47.5	46.5	36.5	33.7	31.8	23.2
	70歳代	358	69.3	55.6	59.2	46.1	30.4	30.4	27.4
地区別	空港周辺9市町（A）	353	62.3	54.1	43.9	50.7	41.6	36.8	31.2
	9市町以外（B）	2,647	61.2	42.4	41.2	38.3	30.8	24.6	25.2
	差異（A-B）	-	1.1	11.7	2.7	12.4	10.8	12.2	6.0

Ⅲ. 社会潮流の変化（県内に人流・物流が増えるビジネスチャンス）

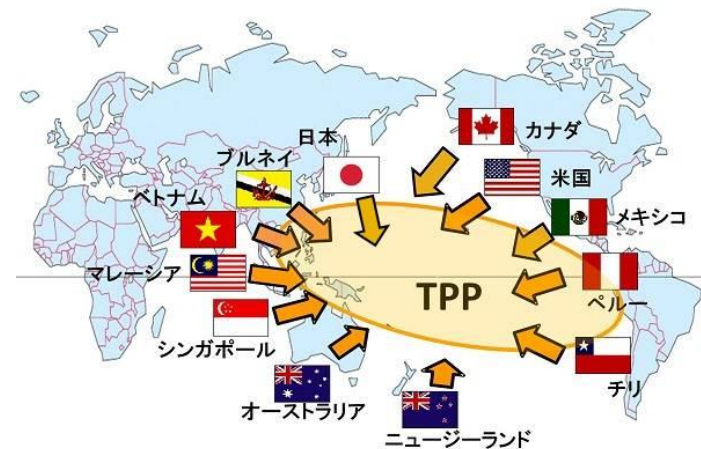
(1) 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催

- ✓ 千葉県でオリンピック3競技、パラリンピック4競技の開催決定
- ✓ インバウンドの増勢（15年1～10月の訪日外国人旅行者1,632万人）
- ※世界の人口推計：10年69億人→95億人（+26億人：うちアジア+10億人）



(2) TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）合意

- ✓ 関税の撤廃（高付加価値製品の輸出増加）
- ✓ 関税の撤廃（安価な海外製品の輸入増加）
- ✓ ビジネス関係者の一時的な入国要件（ビザ）緩和（ビジネスマンの往来が活発化）



(3) アベノミクス（日本再興戦略）の進展

- ✓ 国内・国外メーカーの対日投資の呼び込みや優れた製品の輸出拡大
- ✓ 医療の国際展開の促進（外国人患者の受け入れ等をサポート）
- ✓ 2020年の農林水産物・食品の輸出額1兆円を前倒しで実現
- ✓ 日本の歴史や伝統文化をテーマとした体験型訪日ツアー商品の充実
- ✓ 地方の免税店を6,600店（15年4月）から2020年に20,000店に増加



Ⅳ. 成田国際空港を活用した千葉県の地域活性化の方向性

【今後の地域活性化のポイント】地域の「強み」を地域活性化の切り札に

- ✓ 成田空港周辺9市町の分野別評価をみると、全分野平均で成田市がトップとなっている。
- ✓ 分野別にみると、富里市の「就業環境」や栄町の「安心・安全」「都市基盤」、芝山町の「産業」「自然・文化・歴史」などが9市町のなかで優位性が高い。
- ✓ 各市町の「強み」(下表の網掛け部分)を伸ばし、「弱み」を克服することで、成田国際空港の立地効果の最大化を目指す視点が重要。

■ 成田国際空港周辺9市町の分野別偏差値(千葉県内54市町村を対象に分野別の121指標で評価)

	全分野平均	出産・子育て	教育	就業環境	産業	自然・歴史・文化	住環境	安心・安全	都市基盤	健康・福祉	老後	観光	愛着
成田市	① 56.0	① 58.2	① 52.0	58.8	52.0	55.2	① 52.6	49.7	② 51.6	① 56.3	① 59.6	① 68.2	① 57.2
富里市	48.6	46.0	45.2	① 60.6	② 53.8	47.2	47.2	45.4	46.1	45.8	③ 52.9	③ 53.4	39.4
香取市	③ 50.9	51.0	② 50.7	50.6	49.6	55.7	49.7	③ 51.7	44.1	48.4	51.9	② 53.5	② 53.4
山武市	45.0	47.2	45.9	51.4	50.4	48.1	44.4	44.3	43.1	42.7	44.3	44.9	33.0
栄町	49.8	50.2	47.7	50.2	48.1	48.0	45.1	① 63.2	① 55.7	41.6	52.1	46.6	③ 49.0
神崎町	49.9	③ 53.7	48.1	51.7	46.4	③ 56.3	② 52.4	48.9	42.5	③ 50.5	52.1	46.5	－
多古町	50.7	43.9	48.2	② 58.9	③ 52.6	② 56.4	③ 51.2	② 53.1	③ 48.4	48.4	49.2	47.5	－
芝山町	② 51.3	48.4	49.4	② 58.9	① 58.7	① 61.4	49.8	43.4	33.3	② 55.1	② 56.7	49.9	－
横芝光町	48.3	② 55.7	② 50.7	50.3	49.6	53.1	49.7	47.7	44.9	42.0	46.6	42.2	47.6

(注) 1. 出所: (株)千葉銀行『「千葉県創生」戦略プラン』

2. 本指標は基本的に総合評価(定量評価+定性評価)であるが、多古町と芝山町、横芝光町は、住民アンケートが規定数に達しなかったため、定量評価を記載。

3. 丸数字は9市町内の順位、網掛けは偏差値が50以上(地域の強み)。

IV. 成田国際空港を活用した千葉県の地域活性化の方向性

(1) 空港ゲートウェイ機能の強化

- ✓ 第3滑走路の整備による離発着過密時間帯の解消(航空需要増加への対応)
- ✓ 国内線(LCC)の充実(成田国際空港⇄国内各地のアクセス利便性向上)
- ✓ 千葉県内2次交通の充実(成田国際空港⇄千葉県内のアクセス利便性向上)

※公共交通機関におけるサインの充実(共通化)、Wi-Fi環境の整備など含む。

(2) 新たな切り口の交流人口の取り込み

- ✓ MICE機能の充実・県内コンベンションセンターとの連携強化
- ✓ スポーツツーリズムの推進(国際大会の誘致、合宿需要への対応、周辺ゴルフ場活用)
- ✓ 体験型観光の商品化・情報発信力の強化(外国人リピーター[再来日者]の取り込み)

(3) 地域産業の活性化促進(産業振興⇄航空需要増加の相乗効果)

- ✓ 成長産業(医療・健康・環境など)・グローバル企業の戦略的な誘致促進
- ✓ 外資系企業の誘致促進(千葉県総合戦略)
- ✓ 農作物・魚介類(加工品含む)の輸出拡大(成田市場の輸出拠点化プロジェクトの推進)

◆ 第3滑走路の増設等により、成田空港の更なる機能強化を実施し、増加する航空需要の経済波及効果を県内に取り込むことによって、千葉県全体の経済面、周辺地域の雇用面で大きな効果が期待できる。